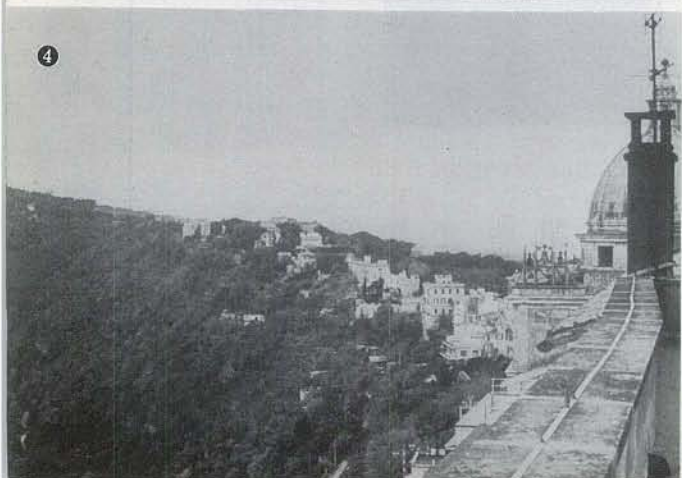
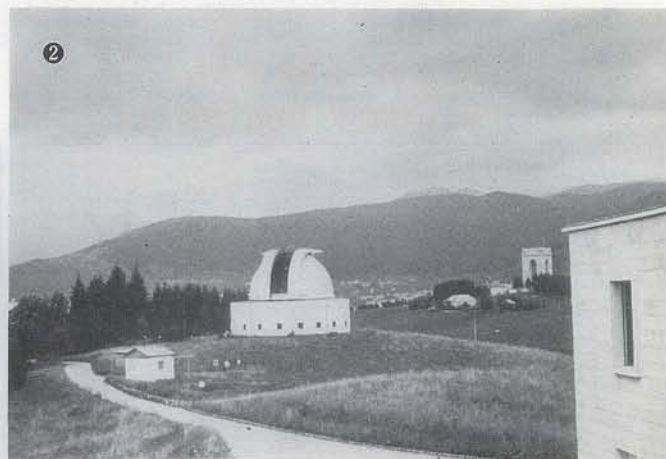
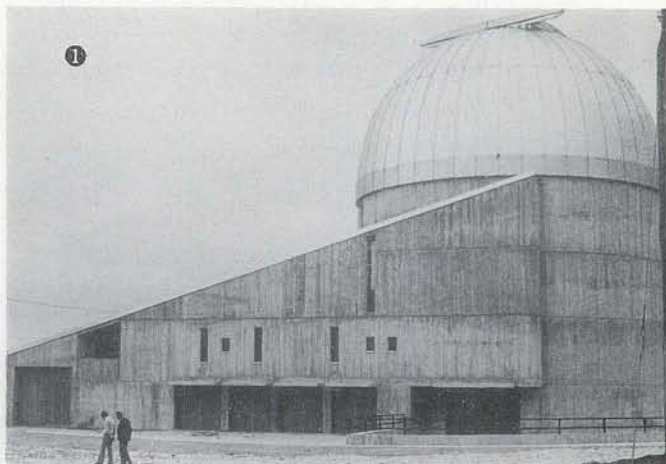


# ヨーロッパの天文台 I

ヨーロッパには100年以上の歴史を持つ天文台が数多く第一線の研究をしている一方、まったく新しい大型観測器械をそなえた天文台もいくつか建設されている。これらの天文台・研究所のいくつかを紹介してみる。

- ① Asiago 天文台に1973年に建設された72吋屈折望遠鏡。
- ② 48吋望遠鏡ドーム(1939年建設)とAsiago市内  
Asiago 天文台はイタリア北部山岳地帯にある。この町は有名な避暑地の一つになっている。Padova大学の研究者が主にここで観測し、銀河や変光星や散光星雲の研究に力が入られている。
- ③ Castel GandolfoにあるVatican天文台正門。
- ④ Schmidt望遠鏡ドームと火口湖上のGandolfoの町。  
Vatican天文台はRomaのVatican市国に属しており、研究者はすべて神父さんである。19世紀のスペクトル型の研究は有名である。天文台はRomaから20km南の法王の別荘地に建てられている。
- ⑤ Bonnに1972年に建設された100m電波望遠鏡。
- ⑥ 前面総ガラスばりの100m用制御室。(4階建)西ドイツの首都Bonnから南30kmの盆地に世界最大の可動式電波望遠鏡がある。Max Planck研究所の電波部門研究所に(その他に天文部門、天体物理部門等がある)属し、次々と新しい観測結果が生み出されている。



- ⑦ Hamburg Bergedorf天文台 80cm Schmidt望遠鏡 Hamburgの郊外20kmの所にBergedorf天文台がある。

この天文台から数々の重要な天体位置のカタログが出されている。写真の望遠鏡はKohoutekがKokoutek彗星を発見したSchmidt望遠鏡である。

- ⑧ Göttingen大学はドイツの中央、東ドイツとの境界近くにある古い大学町である。しかし、研究者はチリーにあるESOの望遠鏡等を使って新しい研究をしている。写真は訪問者名簿で1924年の早乙女、荻原、松隅各先生の名が見られる。

- ⑨ ハンガリー Matra の96cm Schmidt望遠鏡

- ⑩ ハンガリー Konkoly天文台本館

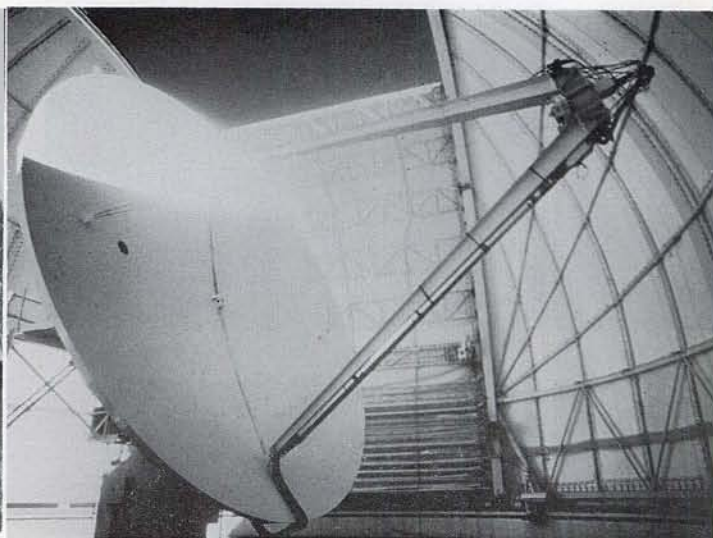
東独JenaのZeissが同じ望遠鏡を3台作って、東独とソ連とで変光星の共同観測をしている。首都BudapestにあるKonkoly天文台では共産国らしく上下に統一のとれた形で研究をしている。



# 星間分子の望遠鏡



▲ 三鷹 6m ミリ波望遠鏡



▲ 米国々立電波天文台 (NRAO) 11m 望遠鏡



▲ 木更津高専 1.5m 望遠鏡

▼ パークス 64m 望遠鏡

## オリオン座と暗黒星雲 (磯部秀三氏撮影)

